

幸南食糧

もち麦ごはん発売

滋賀のJA原料提供

米卸の幸南食糧（大阪府松原市）は、滋賀県のJAおうみ富士管内で生産されたもち麦（もち性大麦）を使ったレトルトご飯「もち麦ごはん」を発売した。カップ形の容器に調理済みの国産米ともち麦が入っており、電

子レンジで温めて食べる。健康志向の若い女性らに手軽さをアピールし、国産もち麦の消費拡大につなげる。同JAの直売所や全国のスーパーなどで販売している。もち麦は、食物繊維を多く含む健康食品として

人気が高い。だが、国内で流通するもち麦のほとんどが輸入品だ。同社は、「近江のもち

麦」の産地化を進める同JAから原料を仕入れ、レトルトご飯を開発した。160g入りで希望

小売価格は220円（税別）。600gの電子レンジで2分30秒温めるだけで食べられる。同JAは「もち麦は、

ご飯に混ぜる以外にもサラダやスープなどに使える。まず『もち麦ごはん』で魅力を知ってほしい」（食育園芸課）と期待している。



JAおうみ富士管内産のもち麦を使った「もち麦ごはん」（滋賀県守山市で）